

## 第 613 回 役員会 議事概要

- 1 日 時 令和 6 年 2 月 28 日 (水) 9 時 30 分～10 時 13 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 構成員 8 名：  
牛木学長，川端理事，坂本理事，澤村理事，末吉理事，染矢理事，  
西田理事，塚本理事  
陪席者 3 名：  
富田特命理事，田代監事，逸見監事

### 4 審議事項

#### (1) 就業規則の一部改正について

就業規則の一部改正について，資料 1 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

#### (2) 客員教授の名称付与について

客員教授の名称付与について，資料 2 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

#### (3) 令和 6 年度次世代科学技術チャレンジプログラムへの申請について

令和 6 年度次世代科学技術チャレンジプログラムへの申請について，資料 3 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・高校生が英語で投稿できるジャーナルはいろいろあると思うが，具体的なジャーナル名を記載することでより強いインパクトを出せると思う。
- ・資料 8 ページ目の概要図には，海外雑誌への論文投稿として，具体的な雑誌名を記載している。また，企画提案書の中にも，これらのジャーナル名を記載することとしている。
- ・申請書の内容は非常にしっかりしているが，中身を見たときにどこがアピールポイントであるかが見えた方が良いと思う。論文投稿がポイントであるということであれば，文字を大きくするなどして強調しても良いと思う。また，修了生の大学での活動の中に，AP (大学単位先取り履修) の記載もあるが，文字が小さく，イメージがしづらいように思う。審査員としては，高校の時から論文を書ける仕

組みができるのか、APを本気で取り入れようとしているのかといった部分を見たいだろう。

- ・本学の特徴として、どこが他の提案と違うのかと一目で分かるように、冒頭のページから強調していても良いと思う。
- ・高大接続やAPに向けた取組み、本格的な海外雑誌の論文執筆などという部分は外出し的に見せた方が特徴的に見えると思う。
- ・数学オリンピックや情報オリンピックに出場するといった内容が記載されていても、そこに目が行くように思う。
- ・現状の内容は、理念的、抽象的で漠然とした印象である。こういった特徴的なところを出していければ、この申請内容がその目標へ向かおうとしているのが見えてくると思う。
- ・2ページ目の企画概要について、特にこれを行うと言い切って、強いメッセージを出したほうが、後半のストーリーが見えやすくなるように思う。
- ・現状の内容では、最後に目標が書かれてしまっているのので、冒頭に目標を記載して、そのために何を行って、どういうコースを作るといった形でできると目的が見えやすくなると思う。
- ・現在、糸魚川市のフォッサマグナミュージアムとは、連携が可能な状態にまでは話はあるので、連携機関に入れることは可能だと思う。
- ・今回の取組みは、新潟をフィールドにした研究ネットワークを最大限利用するというところを一つの旗にしており、その学問的な多様性ととも、地域の広域性を深めるという意味で、連携機関には参加していただいている。
- ・8ページ目のジュニアドクター育成塾について、新潟で発掘と記載されているが、当初より長岡市や上越市などでも行っていたので、規模が小さくなっているような印象を受ける。確かに新潟市での人数が多かったものの、全県で行っていたので、今回の内容を見ると、また一から始めるように見えてしまうと思う。

## 5 報告事項

### (1) 令和5年度内部監査報告について

杉野監査室長から令和5年度内部監査報告について、資料4に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

## 6 その他

- ・坂本理事から令和6年度前期日程試験について、特段の問題もなく終了した旨の報告があった。